

(様式4)

校種	小・中 どちらかに○	学校番号	9	学校名	宇都宮市立 陽 南 小学校
----	---------------	------	---	-----	---------------

## 平成29年度 健康（保健安全・食育）・体力に関する取組

### 1 健康（保健安全・食育）・体力に関する主な実態

#### (1) 定期健康診断・元気っ子健康体力チェックから

- ・ 本校の肥満傾向（肥満度20%以上）児童の出現率は、学校全体で8.0%である。特に、3年男子、6年男女の出現率は10%以上であり、全国平均と比較すると、3年男子は約3倍、6年男子は約2倍である。
- ・ 「むし歯（う歯）」のある者の割合は学校全体で46.7%であり、全国平均より低い。6年生はむし歯（う歯）のない児童の割合が高い一方で、1～3年生は未処置のむし歯のある児童の割合が高い。
- ・ 体力については、新体力テストの本校の結果を県と比較すると、学年によって違いはあるが、男女とも立ち幅跳び、ボール投げ、握力がおおむね優れている。一方、男女とも反復横跳び・シャトルラン・上体起こしが劣っている。

#### (2) 元気っ子健康体力チェックのアンケート及び学習と生活についてのアンケートから

- ・ 「運動やスポーツをすることは好きか」の質問に肯定的回答をした児童の割合は、学校全体で88.9%に達する。どの学年の児童も男女問わず肯定的回答をする児童が多い一方で、「休み時間や放課後、休日に自分から進んで運動するようにしているか」の質問に肯定的回答をした児童の割合は、学校全体として65.1%だった。運動は好きだができていないという意識と実情の間に隔たりがある。
- ・ 「朝食を毎日食べているか」の質問の肯定割合は90%であるが、生活習慣の乱れから「時間がない」「食欲がない」等の理由が多い。
- ・ 「好ききらいをしないで食べている」「食事のマナーに関心がある」の質問には、学年が上がるにつれ、ポイントが高くなる傾向である。嫌いなものを頑張って食べる児童が増えてきた。
- ・ 「安全について」のアンケートでは、「交通ルールを守っている」及び「不審者から自分の安全を守っている」の質問に対し、全学年で94%を超えた肯定的割合になっている。自分や身の回りの人の安全に気を配りながら行動している児童が多い。

#### (3) 授業や体育的行事等への取組状況から

- ・ 体育の授業を好む児童が多く、全校共通の検定表に沿って、自己の目標に向かって意欲的に運動している。
- ・ ミニマム達成状況を見ると、壁倒立10秒の達成度は、微かではあるが年々1%ずつ上昇している。一方、二重跳びやボール投げ10回の達成度は、どちらも40%前後と低く、昨年度よりも減少している。
- ・ 運動会や長縄大会、宇都宮元気っ子プロジェクトなどを利用した体育的行事に全力で取り組むことにより、友達と力を合わせることの達成感を得る児童が多い。

### 2 今年度の重点目標（地域学校園内で共通する重点目標は、文頭に○または該当箇所に下線）

自ら進んで心と体の健康づくりに取り組む児童の育成

—自分の力に合った目標をもち、主体的に運動する児童・

自分の体に関心をもち、自ら健康で安全な生活ができる児童をめざして—

### 3 今年度の取組（地域学校園内で共通する取組は文頭に○、「学校教育スタンダード」に関する取組は文頭に☆）

#### (1) 望ましい食習慣の育成

- ☆ バランスの良い食事と健康について理解させ朝食抜き0を目指す。(通年)
- ☆ 食事のマナーや栄養素などについての意識を高める。(通年)
- ☆ 教科等及び給食時における食に関する指導を栄養教諭の参加を取り入れ計画的に実施
- お弁当の日の実施（12月）
  - ・ 個別の症状に応じた食物アレルギー食への対応

#### (2) 健康・体力の向上

- ☆ 児童の自己管理能力を高めるための健康観察を実施する。(通年)
  - ・ 要管理児童が安心・安全な学校生活を送るため管理体制を強化する。
  - ・ 学校薬剤師と連携によるアレルギー研修会を実施する。(7月)
  - ・ 養護教諭の参加を取り入れた保健学習や学級活動における保健指導を実施する。
  - ・ 自分の健康問題に気づき、生活を見直す態度を培うためのからだの学習(ミニ保健指導)を実施する。
  - ・ 生涯にわたり、健康なからだづくりができるように体育主任、栄養教諭、養護教諭と連携して継続的な指導を実施する。
  - ・ CO(要観察歯)やGO(歯周疾患要観察者)に対するグループ指導を実施する。(6月)
- ☆ 元気っ子健康体力チェック(新体力テスト)の結果をふまえた教科体育における補強運動の継続持久力→8の字跳び、短縄持久跳び、○分間走、鬼ごっこ、など。
- ☆ ミニマム達成に向け、運動プログラム集の有効活用
  - ・ 月ごとに運動目標を定め、教科および休み時間の運動奨励
  - ・ 各種検定の実施(のぼり棒4月 水泳6~9月 鉄棒検定9月 なわとび12月~2月)
- ☆ 休み時間等の固定施設での遊びの奨励
- ☆ 運動委員会主催のスポーツ大会(長縄大会)の実施(11月)
  - ・ 学級やグループでの体力づくり(「うつのみや元気っ子チャレンジ」)の奨励)
  - ・ 通学路点検の実施(通学路の危険箇所を児童と一緒に確かめながらの下校)
  - ・ 不審者対策として、必要に応じて学年下校時に途中まで児童を引率する。
- ☆ 避難訓練を実施し、校内での災害を想定しながら避難経路の確認をする。(年4回)

#### (3) 家庭・地域・関係機関との連携協力

- ・ 変容した児童の様子を学年だより・食育だよりの発行で知らせ家庭との連携を強化する。(毎月)
- ☆ 薬物乱用防止教室を実施する。(年1回)
- ☆ 学校薬剤師と連携による5年喫煙防止教育及び6年薬教育の授業を実施する。(11月)(1月)
  - ・ 家庭と学校が健康課題について一緒に学び考える場としての学校保健給食委員会を実施する。(12月)
- ☆ 新体力テストの結果を通知する。
  - ・ 各種検定の内容や結果について、学年だより等を活用して保護者への周知を図る。
  - ・ 保護者・生活指導部と連携した一斉下校を実施し、毎週水曜日に立哨当番の保護者の見守る中を安全に班で下校する。(通年)
- ☆ 警察スクールサポーターや関係機関などと連携し、防犯教室と避難訓練を実施する。
  - ・ 教師対象の不審者対策実技研修を実施する。
  - ・ 消防署等と連携して、保護者・教師対象の心肺蘇生法並びにAED操作講習会を実施する。(6月)
- ☆ 宇都宮市生活安心課の「子ども自転車免許事業」による自転車教室を実施する。(4年生)